

大阪港夢洲地区の交通対策の結果報告について

～大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会の開催報告～
(懇談会座長：上村多恵子)

大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会

- 2025年大阪・関西万博開催に向けた準備が本格化するなか、夢洲地区に流入する車両等による港湾物流への影響が懸念されていることを踏まえ、港湾関係者において現状・課題、周辺情報について情報交換・共有することを目的に、国際物流戦略チーム幹事会の下に「大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会」を設置（2019年12月に第1回会議開催）。
- 第7回懇談会（本年1月13日開催）では、大阪・関西万博が閉幕したことを受け、これまでの取組みの振り返り等、夢洲の物流交通対策の成果について、情報交換を行った。

第7回「大阪港夢洲地区の物流に関する懇談会」

参考：国際物流戦略チーム「今後の取組」（2022年3月とりまとめ）

■ 日 時：2026年1月13日（火）15:30～16:30

■ 場 所：大阪港湾局 第8、9会議室

■ 出席者：

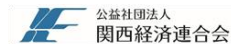
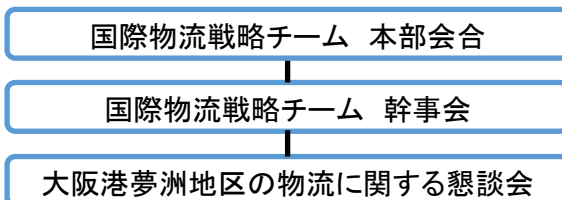
- 上村多恵子 ロジスティクス経営士（国際物流戦略チーム学識経験者）
 - 榎谷 英樹 大阪港運協会 常務理事
 - 村木 亮一 夢洲コンテナターミナル株式会社 事業所長
 - 高嶋 寿夫 株式会社辰巳商会 取締役 港運事業本部長
 - 上野 耕一郎 一般社団法人大阪府トラック協会 常務理事（代理）
 - 田中 利光 阪神国際港湾株式会社 代表取締役副社長
 - 尾下 武史 公益社団法人関西経済連合会 地域連携部 副参与（代理）
- オブザーバー：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
事務局：近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪港湾局

◎：座長 ※敬称略・順不同

■（参考）過去の開催実績：

2019年12月2日：第1回開催	2021年2月8日：第2回開催
2022年1月20日：第3回開催	2023年1月19日：第4回開催
2024年1月31日：第5回開催	2025年2月4日：第6回開催

■（参考）体制図



1. Withコロナ時代の国際物流ネットワークの構築

- 昨今の激甚化・頻発化する災害や新型コロナウイルス感染症が国際物流に与えた影響から、非常時にも機能する国際物流ネットワークの構築が一層重視されています。物流機能を維持するための防災・減災対策に取り組む他、国際海上コンテナ輸送の多方面・多頻度の直航サービスを充実させ、我が国立地企業のサプライチェーンの強靱化に貢献する国際コンテナ戦略港湾政策のさらなる深化を目指します。
- Withコロナ時代に求められる非接触・非対面型の効率的なデジタル物流システムへの転換に向け、民間事業者間の港湾物流手続を電子化するサイバーポート（物流分野）の普及や、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消等を目的としたCONPAS(Container Fast Pass)の導入を目指します。

2. 崩れないグローバルコールドチェーンの構築

- 農林水産物・食品の輸出額を2030年までに5兆円とする政府目標の達成に貢献するため、「産直港湾※」制度を活用して小口貨物の積替円滑化施設やリーファーコンテナ蔵置時の電源供給設備の整備を支援し、コールドチェーンの強化に取り組みます。
※ 農林水産物・食品の輸出産地が我が国港湾からの直航サービスを活用した輸出行先となる港湾
- 新型コロナウイルス等が増加し、高品質な医薬品物流の実現への要請が高まる中、医薬品物流に係る国際認証の取得等に取り組みます。

3. 大阪・関西万博に向けた取組の推進

- 2025年開催の大阪・関西万博の会場となる大阪港夢洲地区及びその周辺地域における円滑な港湾物流を支えるため、周辺道路の拡幅や立体交差化、コンテナターミナルの物流機能強化等のインフラ整備に取り組みます。
- 港湾関係者や物流事業者、その他関係機関との連携により、大阪・関西万博の開催に向けた協力体制を構築し、物流交通対策を通じた交通円滑化を目指します。

4. 国際物流の脱炭素化(カーボンニュートラル)の推進

- 我が国の輸出入貨物の99.6%を取り扱い、多くの産業が立地する港湾及び臨海部における脱炭素化を通じて、環境に優しく持続可能な国際物流の実現を目指します。
- 脱炭素化に配慮した港湾・空港機能の高度化等を通じて、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート(CNP)を形成する等、新たに環境価値を付加することで世界から選ばれる港湾・空港を目指します。

資料説明

➤ 夢洲における物流交通対策について

夢洲等における交通インフラについて、万博工事開始までに、此花大橋・夢舞大橋・舞洲幹線道路の6車線化、万博工事車両の増加が見込まれる令和6年夏頃までに、夢洲北高架橋の整備等を完了させ、令和6年12月までに主要交差点の立体交差化及び夢洲幹線道路等を含め、概ね全て完了したことを報告。物流交通対策については、万博開催前までに、車両待機場の整備、荷捌き地の拡張・ゲート増設、CONPASの導入等の取組みを進め、万博開催期間中においては、ターミナルゲート時間延長について、万博開幕直後及び万博終盤期に、港湾関係者の協力のもと実施したことを報告。

➤ 万博工事期間中の道路交通状況について

万博工事のピーク調整による平準化や、工事車両の適正な運行管理を実施した結果、工事車両台数の実績は、予定の半分以上となったことから、万博工事期間中の道路の交通影響に関する大きな問題は生じなかったことを報告。

➤ 万博開催期間中の道路交通状況等について

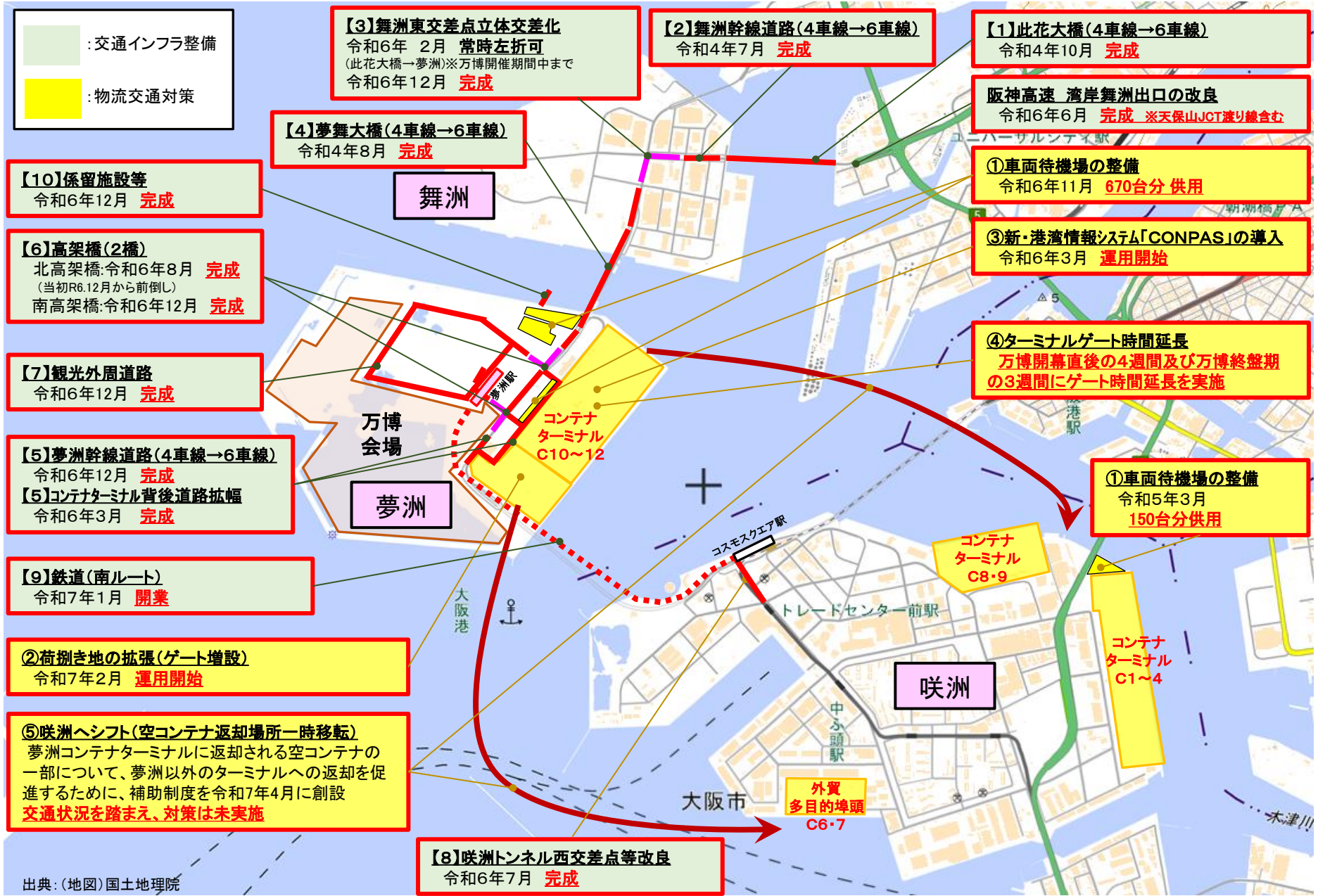
万博来場者の円滑な輸送を確保するとともに、市民生活や経済活動への影響を最小限に留めることを念頭に、日々の交通状況をAIカメラ等によりモニタリング・分析、来場者輸送センターとの連携を行うとともに、予め実施期間を定めて計画した追加的対策等を実施し、万博期間中の6か月間において、万博会場周辺の道路交通に混雑は発生しなかったことを報告。

意見交換概要

- 万博準備期間中、開催期間中において大きな混乱がなく閉幕に至ったとのコメントがあり、関係事業者の協力に対する感謝の発言があった。
- 今後の課題として、整備した交通インフラや港湾の機能を大阪港の利用拡大につなげていくことが重要という意見があった。

【参考】夢洲等における交通インフラ整備・物流交通対策について

【夢洲・舞洲・咲洲等における取組状況】



【参考】夢洲等における交通インフラ整備・物流交通対策 工程

交通インフラ整備

項目	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	～
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	～
大阪・関西万博		基本計画	検討・設計等	検討・設計等	整地・インフラ工事	整地・インフラ工事	撤去工事					
			● 基本計画策定					万博開催(4～10月)				
IR		公募・設計等										※IR施設の開業(2030年秋頃)
【1】 此花大橋(6車線化等)		設計等		工事(6車線化)								※万博閉幕後に歩道設置
【2】 舞洲幹線道路(6車線化)		設計等		工事(6車線化)			工事					
【3】 舞洲東交差点立体交差化			設計等	右左折2車線化済	工事	常時左折可迄						
【4】 夢舞大橋(6車線化)			設計等	工事(6車線化)			工事(歩道)					
【5】 夢洲幹線道路(6車線化)			設計等	北行き3車線化済	工事							
【6】 高架橋(夢洲北)			設計等		工事							
【7】 高架橋(夢洲南)			設計等		工事							
【8】 観光外周道路			設計等		工事							
【8】 咲洲トンネル西交差点改良						設計等	工事					
【9】 鉄道(南ルート)		基本検討調査等	設計等		工事(開業準備込)							
				設計等		工事(開業準備込)						
【10】 係留施設等			設計等	工事(浮棧橋)		設計等	工事(待合所等)					
				設計等		工事						



物流交通対策

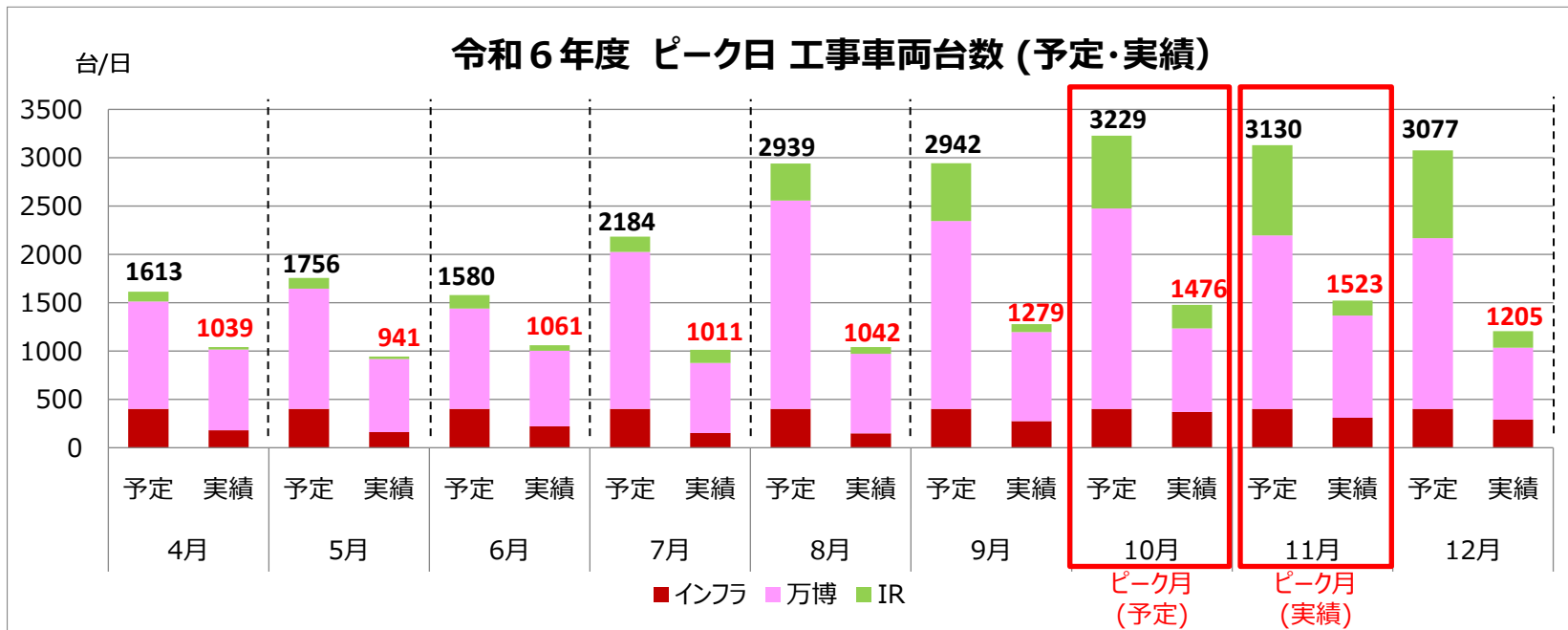
① 車両待機場の整備	夢洲での追加整備 咲洲での追加整備		詳細設計	工事	供用開始	設計	工事	供用開始				① 車両待機場の整備
② 荷捌き地の拡張(ゲート増設)	C12コンテナターミナル拡張※、ゲート増設(※ 増設ゲート周辺部分)		概略設計	詳細設計	工事	供用開始						② 荷捌き地の拡張(ゲート増設)
③ CONPASの導入	新・港湾情報システム(CONPAS)		概略・詳細設計、試験期間中の改修	試験運用等		順次導入						
④ ターミナルゲート時間延長	昼休み等ゲートオープン時間の延長		社会実験	検討・協議等								実施
⑤ 咲洲ヘシフト	空コンテナ返却場所一時移転		検討・協議等	詳細設計		C6.7ガントリークレーン整備						※

※ 対策を計画していたが、交通状況を踏まえ、対策は未実施

【参考】万博工事期間中の道路交通状況について

- ピーク時の混雑を避けるために、万博工事(リング、パビリオン、駐車場など)のピーク調整による平準化や、各事業(万博・インフラ・IR)における工事車両の適正な運行管理(時間帯、通行経路)を実施。
- その結果、工事車両台数の実績は、令和6年11月の最も多い実績台数で、**1,523台/日**であり、**予定の3,130台**に比べ、**半分以下**となったことから、**万博工事期間中の道路の交通影響に関する、大きな問題は発生しなかった。**

※交通シミュレーションにおいては、各工事のピーク台数を重ね合わせて、最も厳しい状況を想定して算出



	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績	予定	実績
IR	100	24	110	24	140	59	160	136	381	71	596	82	755	241	934	157	910	289
万博	1,113	835	1,246	758	1,040	782	1,624	725	2,158	822	1,946	922	2,074	864	1,796	1,058	1,767	744
インフラ	400	180	400	159	400	220	400	150	400	149	400	275	400	371	400	308	400	172
計	1,613	1,039	1,756	941	1,580	1,061	2,184	1,011	2,939	1,042	2,942	1,279	3,229	1,476	3,130	1,523	3,077	1,205

(参考)

一般交通	17,727
------	--------

※交通シミュレーションにおける予定台数

【参考】万博開催期間中の道路交通状況について

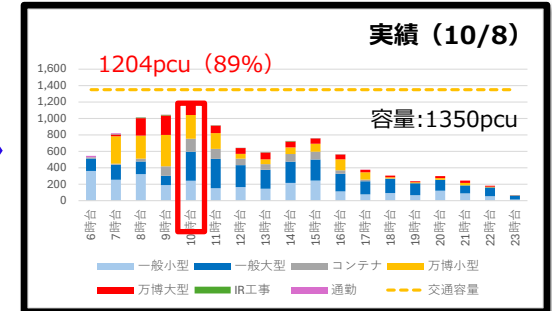
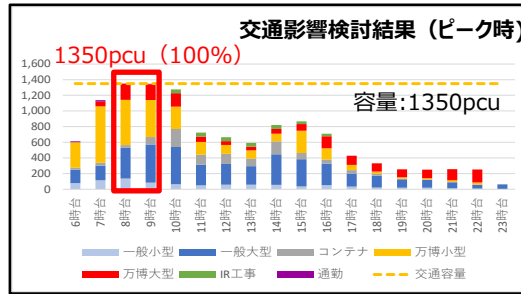
万博会場周辺の道路交通状況

- 万博開幕後、万博会場周辺の主要ポイントにおいて、AIカメラ、トラフィックカウンターにより、毎日の交通量を把握し、分析を実施
- 交通影響検討で実施した結果と実績の傾向は一致しており、交通量のピークは、同じ箇所及び時間帯で発生
- 万博期間中の6カ月間においては、**万博会場周辺の道路交通は交通容量を下回り、混雑は発生しなかった**
 - ◆ 来場方向のピーク値 高速ルート（湾岸舞洲出口 天保山方面から）の10時台が容量比89%（10/8（水））
 - ◆ 退場方向のピーク値 南ルート（咲洲トンネル西交差点）の15時台が容量比85%（6/23（月））

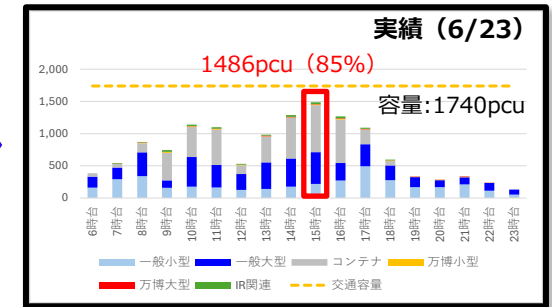
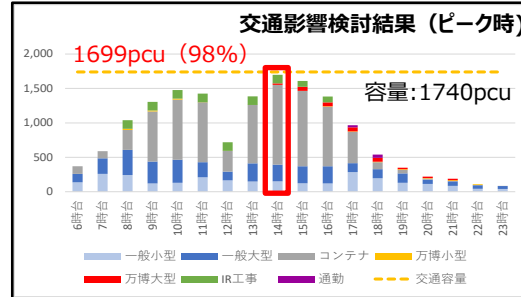


◆ 来場方向：高速ルート（湾岸舞洲出口天保山方面から）

※車両分類の台数は推計台数である



◆ 退場方向：南ルート（咲洲トンネル西交差点）



万博会場周辺以外の道路交通状況

- 万博会場への主要アクセスルート(高速道路含まず)や主要アクセスルートを補完するルートにおいても、JARTICからの渋滞情報データを入手し、万博開催前(1年前の同時期)のデータを比較した結果、万博交通による大きな渋滞は発生していないことを確認。

【参考】万博開催期間中における交通円滑化に向けた対応

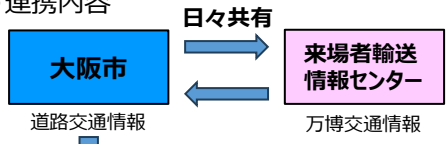
- 万博開催期間中に、**来場者の円滑な輸送を確保**するとともに、**市民生活や経済活動への影響を最小限**に留めることを念頭に、**日々の交通状況のモニタリング・分析**を行いながら、**追加的対策**を実施。
- **「来場者輸送情報センター」と緊密に連携**し、駐車場の予約台数などの**万博交通情報**と、交通量の予測データなどの**道路交通情報**について、**日々相互に共有**。

万博会場周辺の道路交通のモニタリング・分析

- ① **AIカメラ等によるモニタリング**
 - ・AIカメラ等により、各ルートの主要ポイントの交通量をモニタリング
- ② **各車両の日々の増減傾向の分析**
 - ・物流車両、IR工事車両、一般交通の台数実績や推計値から、車両ごとの増減傾向を把握

※ライブカメラで主要交差点の交通状況を常時把握

●連携内容



追加的対策の実施状況

- ◆ **追加的対策A**：各事業の工夫により、交通量の状況に関わらず、**予め期間を決めて実施する対策**
- ◆ **追加的対策B**：日々の交通状況のモニタリングを行いながら、**交通容量を超過する見込みとなった場合に、機動的に実施する対策**

1) 追加的対策A

対象車両	対策メニュー	内容	効果	実施期間	実施
IR工事車両	休工日の追加	万博来場者が特に多く見込まれる期間について、IR関連工事の休工を増やす	IR工事車両台数を削減	開幕・GW・お盆・閉幕付近	実施
一般交通	舞洲工場の搬入抑制	こみ収集車両に対して、混雑時間帯に他の工場に搬入するなど、通行台数を抑制	12~36台/hの削減	全期間	実施
物流車両	ターミナルゲートの時間延長	万博来場者及びコンテナ車両が多く見込まれる期間について、時間外(早朝及び昼休み)にゲートオープンを実施	物流車両の来場台数を平準化	開幕・GW前後・閉幕付近	実施

※ターミナルゲートの時間延長は、開幕・GW前後・閉幕付近において、予め期間を決めて実施

2) 追加的対策B 予測の結果、交通容量を超過する見込みがなかったため、追加的対策Bは実施せず

対象	対策メニュー	内容	効果
物流車両	ターミナルゲートの時間延長	時間外(早朝及び昼休み)にゲートオープンを実施	物流車両の来場台数を平準化
物流車両	空コンテナシフト	空コンテナの返却場所を夢洲から咲洲等に一部変更	150台/日削減を想定
IR工事車両	通行ルート・時間帯の変更	容量を超過する見込みのルート・時間帯において、IR工事車両の通行ルート・時間帯を変更	IR工事車両台数を削減
一般交通	働きかけTDM*	・更なる協力をお願いについてTDMパートナー企業等にメルマガ配信や情報提供 ・追加的な情報を府市のHP等に掲載	抑制

※・働きかけTDMとしては、一般車両への対策として、開催中、全期間にわたって、TDMパートナー企業等に対し、夢洲周辺や、阪神高速道路の混雑予測情報等を情報提供。
 ・会期終盤の繁忙期においては、**道路交通量が増加傾向にあったため、機動的に「働きかけTDM」の更なる取組を率先して実施**